

科目名	<b>判断推理</b>	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 <input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群	
			総合政策学部	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			経済学部	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	<b>Logical Inference</b>	開講年次	■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年	
		開講期間	■ 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
ふりがな	くさか かずひと	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	日下 和人	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	公務員試験における判断推理の問題に取り組むための素地を作る講座です。判断推理では、言語を用いた推理問題を扱います。			
到達目標	単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得することになります。 ①判断推理の言語推理問題を類型化した形で仕入れることができる。 ②判断推理の言語推理問題を解くコツを身に付けることができる。			
授業概要	前半の時間で、見本問題を通して図や表をかくコツを伝授します。 後半の時間は、自力で演習して、コツを内面化してもらいます。			
授業計画				
第1回	導入 全称命題 → 論理式			
第2回	ド・モルガンの法則			
第3回	特称命題 → ベン図			
第4回	ベン図の描き方 領域を確保する描き方			
第5回	ベン図の使い方 空集合を利用する方法			
第6回	対応関係 全欄完成タイプ			
第7回	対応関係 合計値の利用			
第8回	対応関係 一括放り込み 列連動			
第9回	対応関係 ○×記入 文字記入			
第10回	位置関係 部屋割り			
第11回	位置関係 円卓の座席配置			
第12回	発言の真偽 (ウソつき問題) グループ分け			
第13回	発言の真偽 (ウソつき問題) 一方真・一方偽			
第14回	立方体の切断 “面平行なら線平行”			
第15回	切断面の推定 面の拡張・補修 順序関係 嵌め込みタイプ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	文部科学省の大学設置基準第21条に基づき、4時間をお願いします。 予習2時間：講義のテーマに関する情報に積極的に接し、疑問点および現時点での考えをまとめておく。 復習2時間：講義を踏まえつつ、問題を復習する。			
履修条件 受講のルール	カリキュラムの規定の通り。			
テキスト	特に指定はしませんが、6月になったら気に入った問題集を一冊買って腕試しをしてください。			
参考文献・資料	国家試験センター『「判断推理」の基礎』（絶版）を参考にして、スライド集を作成しています。 配布物は、市販の参考書18冊に目を通して、作成しています。			
成績評価の方法	以下の(1)(2)のうち、高得点の方を成績とする。 (1) 定期試験の成績 100% (2) 定期試験の成績 50% 講義への参加状況 50%			

	<p>[講義への参加状況：演習への取り組み プリントへの書き込み]</p> <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<p>月曜日 13：00～17：10 金曜日 13：00～17：10 (他の時間も居ります。来室を歓迎します。)</p>
成績評価基準	<p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>一日の終わりに、頭の体操をして、気分良く帰途についてください。 やり遂げた後の夕飯は、うまいですよ。</p>